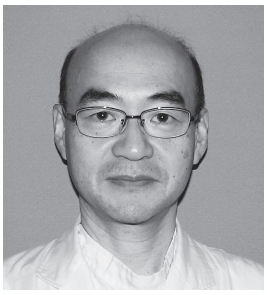
小児科

診療科長
浅井　康一

専門医資格等
日本小児科学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医・指導医
日本小児アレルギー学会評議員
日本小児感染症学会評議員
Infection Control Doctor（ICT）
京都大学医学博士
京都大学医学部　臨床教授
専門分野
小児アレルギー
小児感染症
得意疾患
食物アレルギー
喘息・アトピー



GCU診療科長
黒須　英雄

専門医資格等
日本小児科学会専門医
日本周産期新生児医学会周産期（新生児）専門医
新生児蘇生法「専門」コースインストラクター
国際ラクテーションコンサルタント（IBCLC）
専門分野
新生児
得意疾患
新生児
母乳育児

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	石塚　哲也		小児全般	小児感染症
医　　師	北　　誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	小児全般	虐待・遺伝性疾患
医　　師	橋本　有紀子	日本小児科学会専門医 日本人類遺伝学会　遺伝専門医	小児内分泌代謝	低身長・甲状腺 遺伝性疾患
医　　師	阿水　利沙	日本小児科学会専門医 日本周産期新生児医学会　周産期（新生児）専門医	新生児	極・超出生体重児
医　　師	仁井　純子	日本小児科学会専門医	小児全般	
非常勤医師	秋山　佑一	日本小児科学会専門医	血液・腫瘍	心身症
非常勤医師	河田　　興	日本小児科学会専門医 日本周産期新生児医学会 周産期（新生児）専門医・指導医 日本臨床薬理学会　専門医・指導医 日本新生児成育医学会　薬事委員 小児臨床薬理学会　教育委員・運営委員 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	新生児	妊娠と薬

□ 診療科の特徴

施設認定等	京都大学小児科専門研修プログラム連携施設 周産期（新生児）専門医指定研修施設 日本アレルギー学会専門医教育研修施設

1.お子さんの、心とからだの発達を重視します。
2.スタッフ全員が、新生児から思春期までの小児の診療がおこなえるよう研鑽しています。
3.新生児期から小児期に外科的治療が必要な例には専門施設と円滑に連携をとっています。
（京都大学病院・京都府立医科大学病院等）
4.病気の治療にとどまらず、予防接種による感染症の予防にも力をいれています。
5.長期入院が必要な小・中学生は、学習が継続できるよう院内学級（京都市立桃陽総合支援学校）が利用できます。
6.京都市から委託をうけ院内病児保育を実施し、子供さんが体調不良で登園・登校できない時にも、ご家族の方が仕事を休まずにすむようサポートしています。

□ 主な対象疾患

新生児・低出生体重児（極低出生体重児1500g未満・超低出生体重児1000g未満）・新生児黄疸・糖尿病や甲状腺疾患母体からの出生児・新生児薬物離脱症候群
食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎
低身長・甲状腺機能異常・糖尿病・肥満・先天代謝異常・遺伝相談
先天性心疾患・川崎病
てんかん・発達障害・自閉症・心身症・不登校など

□ 診療（業務）内容

1.平成12年から新生児集中治療室（NICU6床）、平成23年から新生児治療回復室（GCU6床）を開設し、産婦人科と密接に協力し24時間体制で赤ちゃんの診療を行っています。
2. 小児病棟（2-3病棟）では、肺炎・胃腸炎・脱水症・熱性痙攣など小児一般急性疾患の入院治療をしており、病棟保育士も常駐しています。
3. 外来診療は、一般外来の他、専門外来（アレルギー、内分泌、神経、心臓、NICUフォローアップ）や予防接種・健診があり、食物アレルギーでの食物経口負荷試験、内分泌疾患での負荷試験や学校検診（心電図・検尿）異常の精査をしています。
外来初診の場合、可能であればかかりつけの先生からの紹介状をご持参ください。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
11.9名	450名	9.6日

外来患者数

1日平均患者数
28.1名

□地域医療連携・広報活動

第438回日本小児科学会京都地方会　一般演題Ⅱ　座長　浅井康一　2018年5月26日（京都府立医科大学附属図書館合同講義棟2F図書館ホール）
京都小児科医会新年学術講演会　特別講演Ⅱ　座長　浅井康一　2019年1月26日（京都ホテルオークラ）
第32回近畿小児科学会　一般演題7　座長　浅井康一　2019年3月17日（国立京都国際会館）

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	黒須英雄、阿水利沙、仁井純子、橋本有紀子、北誠、石塚哲也、河田興、浅井康一	内臓逆位を呈した6番染色体異常の1例	第121回日本小児科学会学術集会	福岡	2018.4.21	2018.4.20-2018.4.22
国内学会	浅井康一	高度貧血を呈した乳児消化管アレルギーの1例	第67回日本アレルギー学会学術大会	千葉	2018.6.23	2018.6.22-2018.6.24
国内学会	浅井康一	関節液IL-6の著名高値を認めた、少関節型若年性特発性関節炎の幼児例	第28回日本小児リウマチ学会総会・学術集会	東京	2018.10.27	2018.10.26-2018.10.28
国内学会	浅井康一	アセトアミノフェンによる急性汎発性発疹性膿疱症の1例	第55回日本小児アレルギー学会	岡山	2018.10.20	2018.10.20-2018.10.21
国内学会	浅井康一	膝関節炎で発症し化膿性関節炎との鑑別を要した、少関節型若年性特発性関節炎の幼児例	第50回日本小児感染症学会総会・学術集会	福岡	2018.11.11	2018.11.10-2018.11.11
国内学会	阿水利沙、橋本有紀子、仁井純子、北誠、石塚哲也、黒須英雄、河田興、浅井康一	陽圧換気中止後に片側肺の巨大嚢胞性病変が縮小消失した極低出生体重児の一例	第72回国立病院機構総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-2018.11.10
国内学会	浅井康一、北誠、仁井純子、阿水利沙、橋本有紀子、石塚哲也、黒須英雄	アセトアミノフェンによる急性汎発性発疹性膿疱症の1例	第32回近畿小児科学会	京都	2019.3.17	2019.3.17

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文（筆頭著者）	河田興, 中嶋尚子, 喜田孝史, 黒須英雄, 阿水利沙, 高倉賢人	エドキサバンのヒト乳汁移行の検討　妊娠・産褥期に処方する経口抗凝固薬（NOAC）における問題点.	日本小児臨床薬理学会雑誌	30	1	12-14			2018.1
英文論文（筆頭著者以外）	和田美智子, 北誠, 日下部徹, 田上哲也, 浅原哲子, 島津章	False-positive TSH receptor antibody-a pitfall on third-generation TSH receptor antibody mesurements in neonates-.	Endocr J.	65	5	587-592			2018.5
英文論文（筆頭著者）	橋本有紀子	Molecular and clinical features of KATP-channel neonatal diabetes mellitus in Japan.	Pediatr. Diabetes	18	7	532-539			2018.11
英文論文（筆頭著者）	北誠, 桑田康弘	Familial congenital choanal atresia with GATA3 associated hypoparathriudusm-deafness-renal dysplasia syndrome unidentified on auditory brainstem response.	Auris Nasus Larynx	Epub					2018